

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ムトー精工株式会社  
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 肇  
 (氏名) 金子 貞夫

TEL 058-371-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,259	6.1	28	△77.8	137	7.4	107	106.4
25年3月期第1四半期	5,899	43.1	130	—	128	—	51	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 461百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △306百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14.88	—
25年3月期第1四半期	7.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	22,547	13,338	55.5
25年3月期	22,589	12,984	54.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,522百万円 25年3月期 12,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	8.00	17.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	4.2	560	210.6	570	220.3	360	469.5	46.69
通期	25,000	1.1	1,000	25.1	1,000	2.3	700	16.1	96.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	7,739,548 株	25年3月期	7,739,548 株
26年3月期1Q	552,335 株	25年3月期	494,460 株
26年3月期1Q	7,206,505 株	25年3月期1Q	7,245,306 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の政権交代や日本銀行による金融緩和以降、振れを伴いつつも円安・株高が進行しており、輸出や個人消費、設備投資の持ち直しが見られるなど、緩やかに回復しつつあります。しかしながら、雇用・所得面では、求人倍率等での改善が見られるものの、実経済や企業業績の回復が明確に表れていないため、依然として厳しい状態が続いております。一方、世界経済は民間需要が堅調な米国を中心に持ち直しつつありますが、欧州の債務問題や米国の財政問題、中国経済の減速などを背景に、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、テレビやパソコンは引き続き低調であるものの、スマートフォンやタブレット端末は堅調に推移しております。自動車関連においては、為替相場の動向や米国景気回復の影響で輸出が増加傾向にあり、大幅に落ち込んでいた中国向けについても持ち直しが見られます。一方、国内販売は、エコカー補助金終了による落ち込みからの持ち直し傾向が維持されております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、前期末からの円安基調が収益改善に寄与したことに加え、受注活動のさらなる推進、固定費の削減並びに業務効率の一層の改善を図るなど経営体制の強化を図ってまいりました結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は6億2千9百万円と前年同四半期と比べ3億6千万円(6.1%)の増収、営業利益は2千8百万円と前年同四半期と比べ1億1百万円(77.8%)の減益、経常利益は1億3千7百万円と前年同四半期と比べ9百万円(7.4%)の増益、四半期純利益は1億7百万円と前年同四半期と比べ5千5百万円(106.4%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、世界的にスマートフォンやタブレット端末が普及する中、海外において電子ペンの需要が高まり、関連製品の売上が堅調に推移したものの、ビデオカメラやデジタルカメラのAV関連、カーナビゲーションやエアコンなどの自動車関連は低調であったため、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて5億6千1百万円と前年同四半期と比べ5億9千9百万円(12.0%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は4千6百万円と前年同四半期と比べ8千万円(63.5%)の減益となりました。

#### ② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、デジタルカメラ、デジタル一眼レフカメラにおける付加価値の高い新商品販売の伸び悩み、新規モデルの生産延期などの影響を受け、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて6億6百万円と前年同四半期と比べ3億1千9百万円(34.5%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は2千4百万円(前年同四半期は営業利益1百万円)となりました。

#### ③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、パッケージ基板への集中的な取組みにより電気検査などの受注が好調に推移したことに加え、内製化など固定費削減の効果により、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて7千3百万円と前年同四半期と比べ1千万円(16.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は7百万円と前年同四半期と比べ5百万円(272.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億1千5百万円減少し、123億4千5百万円となりました。受取手形及び売掛金が2億7千6百万円、仕掛品が1億3千1百万円、未収入金が1億2千8百万円それぞれ減少し、商品及び製品が2億6千7百万円増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億7千3百万円増加し、102億2百万円となりました。有形固定資産が1億7千万円、無形固定資産が1千8百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4千1百万円減少し、225億4千7百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億1千6百万円減少し、68億2千1百万円となりました。支払手形及び買掛金が2億4千8百万円、1年内返済予定の長期借入金が9千9百万円、未払法人税等が1億2千7百万円それぞれ減少し、短期借入金が3億2千8百万円増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億7千9百万円減少し、23億8千7百万円となりました。長期借入金が1億7千4百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億9千5百万円減少し、92億8百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億5千3百万円増加し、133億3千8百万円となりました。利益剰余金が4千9百万円、為替換算調整勘定が3億3千万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想(第2四半期累計期間、通期)及び配当予想(中間期末、期末)につきましては、平成25年5月10日にて公表いたしました「決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありませんが、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,473,935	3,473,096
受取手形及び売掛金	4,860,215	4,583,711
商品及び製品	660,475	928,103
仕掛品	931,930	800,715
原材料及び貯蔵品	1,533,727	1,509,175
未収入金	688,585	560,398
繰延税金資産	59,228	56,143
その他	353,643	434,491
貸倒引当金	△613	△613
流動資産合計	12,561,128	12,345,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,516,375	2,530,727
機械装置及び運搬具（純額）	3,437,439	3,449,329
土地	1,298,379	1,298,379
建設仮勘定	1,227,074	1,451,455
その他（純額）	806,605	726,723
有形固定資産合計	9,285,874	9,456,615
無形固定資産		
投資その他の資産	245,065	263,670
投資有価証券	347,083	316,647
繰延税金資産	805	267
その他	152,452	168,058
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	497,455	482,089
固定資産合計	10,028,395	10,202,375
資産合計	22,589,524	22,547,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,280,521	3,032,032
短期借入金	1,471,449	1,799,756
1年内返済予定の長期借入金	903,637	804,364
未払法人税等	179,391	51,610
賞与引当金	181,782	170,142
その他	1,021,154	963,795
流動負債合計	7,037,937	6,821,701
固定負債		
長期借入金	2,174,217	1,999,605
繰延税金負債	28,958	31,108
退職給付引当金	172,540	160,342
役員退職慰労引当金	171,520	175,166
その他	19,364	21,036
固定負債合計	2,566,600	2,387,259
負債合計	9,604,538	9,208,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	9,217,563	9,266,845
自己株式	△347,544	△397,534
株主資本合計	13,294,692	13,293,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,940	34,531
為替換算調整勘定	△1,137,091	△806,388
その他の包括利益累計額合計	△1,089,151	△771,856
少数株主持分	779,445	816,509
純資産合計	12,984,986	13,338,636
負債純資産合計	22,589,524	22,547,598



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,899,469	6,259,688
売上原価	4,985,599	5,424,777
売上総利益	913,870	834,911
販売費及び一般管理費	783,621	806,034
営業利益	130,248	28,877
営業外収益		
受取利息	3,075	5,032
受取配当金	2,762	2,823
為替差益	—	83,690
その他	30,802	26,720
営業外収益合計	36,639	118,267
営業外費用		
支払利息	6,632	9,071
為替差損	31,724	—
その他	280	324
営業外費用合計	38,636	9,396
経常利益	128,251	137,748
特別利益		
固定資産売却益	868	493
特別利益合計	868	493
特別損失		
固定資産除却損	40	8,327
特別損失合計	40	8,327
税金等調整前四半期純利益	129,079	129,915
法人税等	62,272	29,095
少数株主損益調整前四半期純利益	66,807	100,819
少数株主利益又は少数株主損失(△)	14,852	△6,423
四半期純利益	51,955	107,243

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,807	100,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,413	△13,409
為替換算調整勘定	△350,706	374,191
その他の包括利益合計	△373,120	360,782
四半期包括利益	△306,312	461,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△296,697	424,537
少数株主に係る四半期包括利益	△9,615	37,064

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,989,485	849,546	60,438	5,899,469	—	5,899,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,514	76,276	3,000	105,790	△105,790	—
計	5,015,999	925,822	63,438	6,005,260	△105,790	5,899,469
セグメント利益	126,962	1,296	1,989	130,248	—	130,248

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,606,631	583,326	69,729	6,259,688	—	6,259,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,818	23,253	4,235	36,307	△36,307	—
計	5,615,450	606,580	73,965	6,295,996	△36,307	6,259,688
セグメント利益又は損失(△)	46,315	△24,852	7,414	28,877	—	28,877

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。